

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	19 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延床面積 3,937.96㎡のうち574.55㎡ SRC造地上7階地下2階のうち6階の一部 在宅サービスセンター、デイルーム、機能訓練室など
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等） ②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員30名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制] 13名 （内 訳）次長（1）相談員（1）介護職員（常勤7 非常勤1）看護職員（常勤2名 非常勤1） （前年増減）介護職員（常勤1育休中 非常勤-1）

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	10,278,000	10,278,000	11,011,000	11,011,000
	利用料金収入	88,932,000	86,659,259	93,842,000	86,291,526
	その他収入（利用者等外給食費収入等）	792,000	914,540	59,000	620,950
	計	100,002,000	97,851,799	104,912,000	97,923,476
支出	人件費	75,686,000	69,802,808	73,491,000	71,274,323
	光熱水費	4,115,000	3,934,809	4,115,000	4,023,893
	維持管理費（委託料・賃借料）	14,349,000	14,287,210	14,349,000	15,671,418
	修繕費	657,000	7,992	657,000	79,080
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費支出等）	5,195,000	18,427,051	12,300,000	11,809,729
	計	100,002,000	106,459,870	104,912,000	102,858,443
収支			-8,608,071		-4,934,967

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数	日	311	309	309	310
定員	人	30	30	30	30

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率	%	91.1	89.5	92.2	88.1
利用者数	人	8,500	8,297	8,546	8,196

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
新規利用者獲得のため、入浴希望の利用者を積極的に受け入れる等、収支改善に努め、赤字額は減少した。	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を遵守し、事業計画書、報告書等も適切に作成・提出している。就業規則の従業員への周知や、出退勤の把握および記録による労働時間の管理など労働環境の整備を図っている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	近隣事業所と連携を図りながら、入浴希望の利用者を積極的に受け入れ、新規利用者の獲得に努めた。また、地元町会を中心に、区、見守りネットワーク会員、協力相談員、近隣学校、幼稚園、家族会、ボランティアとの連携を推進する等、地域福祉の向上に努めた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施。年度末は新型コロナウイルス感染症対策も加わり、例年より衛生管理を徹底して行った。また、職員が毎日、自主検査表を用いて危険箇所の確認を行うなど、適切に施設の維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	自宅での入浴が困難な方を優先し、入浴希望者を積極的に受け入れ、機械浴・一般浴サービスを提供した。リハビリ機器による機能訓練など、自立支援の取組みが高評価である。満足度調査では、送迎時のきめ細かな対応と正確な送迎時間も評価を得ている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	マイナス収支ではあるが、器具及び備品取得支出等がなかったことより、前年度より支出が減少した。利用者の施設入所や新型コロナウイルス感染拡大による利用控えは不可抗力であるが、引き続き利用率向上への取組みが望まれる。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (98 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>介護度の高い入浴希望者を積極的に受け入れ、家族の負担軽減に努めている。また、リハビリ機器を使用した機能訓練を行うなど、利用者の自立支援に向けた取組みが高評価で、常に在宅高齢者の福祉向上に寄与している。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>事業の運営については、施設入所やコロナ禍における利用控えの影響はあるものの、更なる利用者の増加に努める必要がある。新規利用者の獲得のため入浴希望者を積極的に受け入れる等、収支改善に努め、赤字額は減少した。</p>